

2024年9月30日  
商工中金

建設資材の総合商社、林建材株式会社を、  
ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（四日市支店）は、林建材株式会社（本社：三重県鈴鹿市、代表者：林 健一郎）に対し、サステナブル経営に必要な資金として2億円の融資枠を開設しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、建設資材や土木資材の販売のほか、生コンクリートの製造や建機・車両のレンタルまで幅広く事業展開しています。同社グループは、2023年7月に中小企業版 SBT（※）を取得、温室効果ガス排出量の削減に取り組むなど、環境経営にも積極的に取り組んでいます。

（※）SBT 認証とは、温室効果ガス排出量削減に関する国際認証

今回同社は、太陽光発電による CO2 排出量の削減や休暇取得率の改善等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【林建材株式会社の概要】

|      |  |
|------|--|
| 所在地  | 三重県鈴鹿市飯野寺家町 66-1                               |
| 代表者  | 林 健一郎  |
| 業種   | 生コンクリート製造、建築材料等の販売<br>建設機械・建設車両等のレンタル、住宅リフォーム等 |
| 資本金  | 8,000 万円                                       |
| 従業員数 | 90 名（2024 年 5 月時点）                             |
| 設立   | 1969 年 12 月                                    |

# NEWS RELEASE

## SHOKO CHUKIN BANK



### (※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

